

東日本大震災被災地支援の取組について

緑のバトン運動

緑のバトン運動は、東日本大震災で大きな被害を受けた東北沿岸部の復興のために全国の小中学校で被災地に植えるコガネイザクラ苗木を育てる活動です。

新居浜西高校では、被災地復興のために、古タオルを集めて被災ペットの支援を行ったり、古着を集めて被災地に送ったりする運動をしてきました。

今年度は、それらの活動に加えて、この緑のバトン運動に生徒会として取り組んでいます。「義援金以外にも自分達にできることをしたい」という先輩達的意思を受け継ぎ、この活動に参加しています。これから2年間、この苗木たちを大切に育てていきたいと思えます。



愛媛県の都市伝説（蛇口からミカンジュースが出る）をモチーフに生徒会で作成してみました。この売り上げから苗木を購入しました。



届いた苗木を大きなポットに植え替え中です。正面玄関前で育てています。植樹先は、南相馬市高見公園と福島県国道沿いの予定です。

前期生徒会の取組について

- 被災地で飼い主を失った犬を保護している団体へタオル支援
- ・市内5つの高校の生徒会への働きかけ
 - ・夏祭りに登道商店街でのタオル回収

後期生徒会の取組

- 被災して孤児になった子どもたちへの冬場の衣類支援
- ・保護者の方々への協力依頼



(中央付近の箱が西高の物資です)